

守山RC 会員各位殿

雑誌委員会 林です。

暑い日が続いておりましたが、そろそろ、秋風が吹く9月を迎えようとしています。さて、雑誌委員会は、ロータリーの友や月信をあらゆる方法によって、会員や会員以外の人々に役立てるものにする。と言う使命がありますが、どう伝えたらと思っておりましたが、とりあえず、私が会員の皆様に読んでいただきたい記事をご連絡することからと思い、書かせていただきました。

ロータリーの友は7, 8, 9が発刊されております。

会員各位には7, 8号が手元のお渡ししているの、読んでおられると思いますが、

7号は新年度1号の為、ジョンF. ジャームRI会長のメッセージと会長の紹介、2016~17年度の日本の地区ガバナーの紹介、3、ロータリーの友のさらなる改革に向けて、の紹介号でした。

8号のRI会長のメッセージは最近の規定審議会での大幅な柔軟変更についての背景とロータリークラブへの誘いの考えが、書かれています。また、**8月の月信**の刀根ガバナーメッセージにも、国際ロータリー創立の歴史と規定変更の考えと目的が書かれています。どちらも、100年の時代の変化に対応するため多様性のあるメンバーの受け入れの為、また、RIによると会員の70%以上が50歳以上であり、世界人口の約半分が30歳未満である、今日の世界との乖離を危惧するため、RI規定変更、各クラブが主役としての自治権と方向性持ち、クラブ細則の決定で自由に決められるようになったことが語られています。**P58には守山RCの楽器寄贈が載っております。**

9号には東日本大震災青少年支援連絡協議会について

1、「ロータリー希望の風奨学金」の経緯、発足と支援の状況

2、「ロータリー希望の風奨学金」の概要

① 奨学生の条件②奨学金の給付③申請してから登録まで

④ 奨学金給付開始⑤後のフォロー

3、「ロータリー希望の風奨学金」への支援参加地区・団体等の年度別変動

開始時 2011.11 から 2012.2013.2014.2015.2016./6 の支援額集計¥783.481.413

支援額は 2650 地区、2580 地区、日台ロータリー親善会議、の順です。

支援生徒数（現、卒、その他）269名（2016.6.30 現在）

4. これまで支給した額 ¥313250000 継続可能な残高¥469341365

今後支援金を募らなければならない金額 ¥226508624

5. お礼

*河本ガバナー年度に提唱され、2650地区は毎年3000万以上の支援ができております。2650地区のガバナー事務所からも会員に9月のロータリーの友を見て概要を確認いただくことと、2650地区のガバナーのお礼が事務所にきております。